

# 旭川市地域公共交通会議における地域公共交通確保維持改善事業の概要

## 事業実施の目的・必要性

旭川市は北海道のほぼ中央に位置し、面積は約748km<sup>2</sup>、人口は2019年4月1日時点で335,323人である。人口は2000年より減少に転じ、それにもなって市内路線バスの乗車人員も減少の一途をたどっている。一方、市街化区域外では高齢化が進み、「生活の足」としての公共交通の役割は、今後更に重要性が増すことが予測される。

そのため、JRや基幹的バス路線と、これに接続するフィーダー系統(デマンド交通など)を組み合わせることで、公共交通を維持、確保することを目指す生活交通ネットワークの構築を進めているところである。

## 生活交通確保維持改善計画の目標

利用者満足度の目標(「満足」、「やや満足」を選んだ人の割合)

平成30年度 86% ⇒ 平成31年度 90%

## 令和元年度事業概要

米飯地区と東旭川駅周辺間において、往路4便、復路6便(土日祝は往路3便、復路4便)の頻度でデマンド型交通の運行を行った。

## 地域公共交通の現況

- ・ 旭川中央交通 (株) デマンド米飯線
- ・ 旭川電気軌道 (株) 76系統
- ・ 道北バス (株) 74系統
- ・ JR北海道 (株) 4路線

## 協議会開催状況

平成30年6月11日

平成30年度 第1回旭川市地域公共交通会議

－旭川市生活交通確保維持改善計画の承認

平成30年12月26日

平成30年度 第3回旭川市地域公共交通会議

－事業報告

－1次評価の承認

令和元年6月5日

令和元年度 第1回旭川市地域公共交通会議

－旭川市生活交通確保維持改善計画の承認

令和元年12月26日

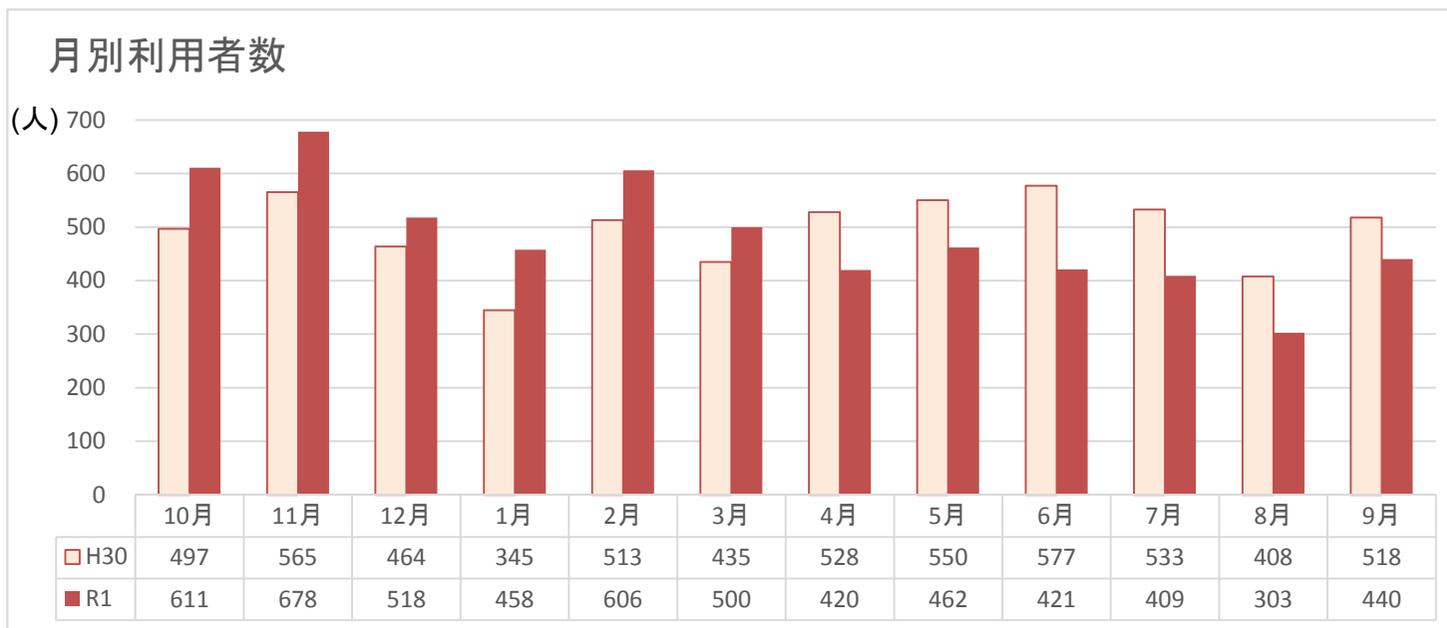
令和元年度 第2回旭川市地域公共交通会議

－事業報告

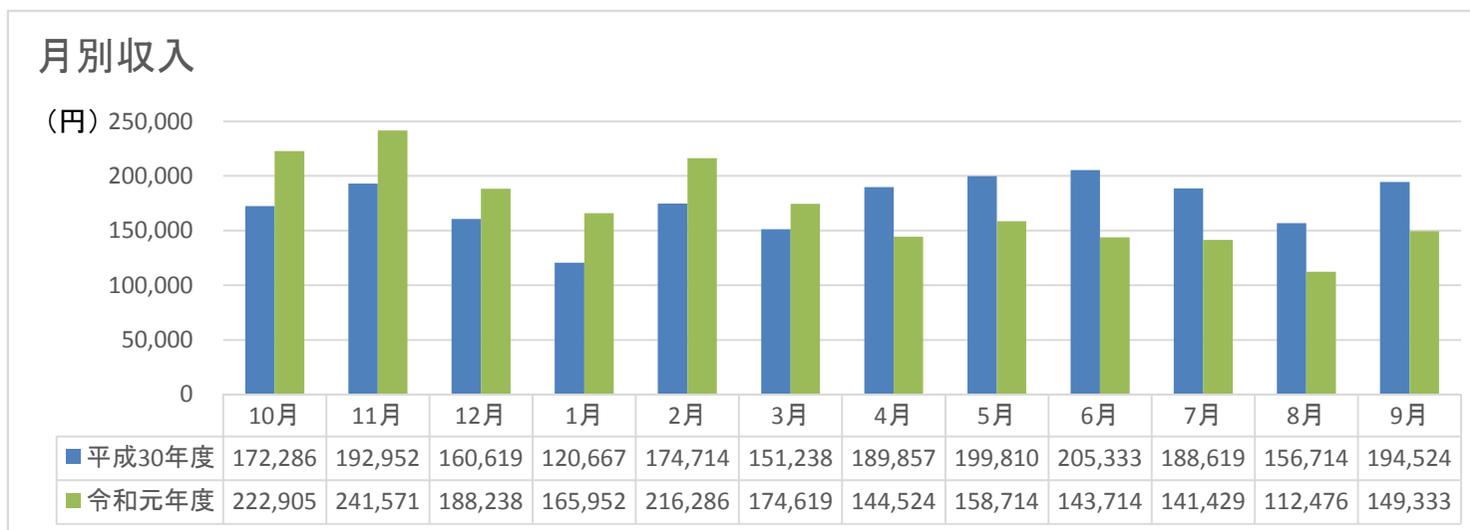
－1次評価の承認



### 3) 利用実績



### 4) 収入実績



## 5) 事業実施の適切性

計画どおりの運行がなされ、適切に事業が行われた。

## 6) 目標・効果達成状況

利用者満足度90%以上の目標を達成した。

## 7) 事業の今後の改善点

「車を利用できなくなったら利用する」と回答した割合が約6割あったため、今のうちから利用について考えてもらうため、チラシ等の配布により利用方法などを周知する。また、意見交換会を実施し、地域住民のニーズの調査や意識調査を進め、より地域にあった事業を目指す。

## 8) 地方運輸局における二次評価結果

(令和2年度分と併せて評価)